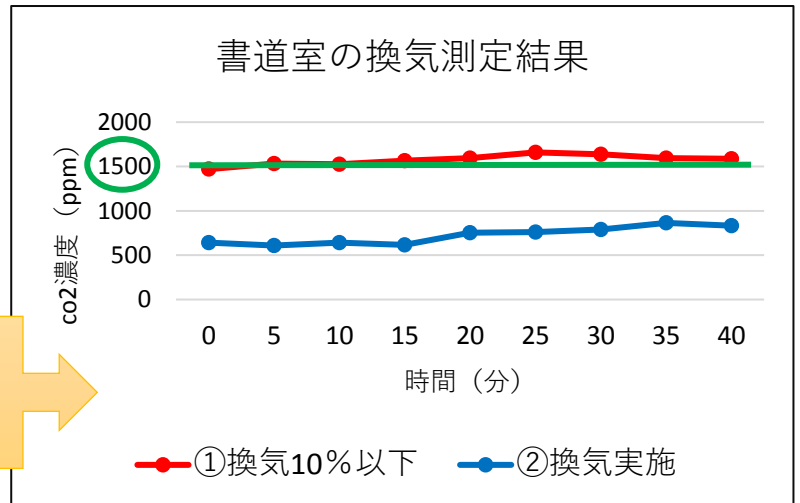




冷房使用中の換気方法について

6月18日に学校薬剤師の望月先生にCO₂濃度測定を実施していただきました。
(学校環境衛生基準値：1500ppm以下、ビル管理法基準値：1000ppm以下)

- ①換気10%以下
(換気をほとんどしていない状態に等しい)
- ②換気実施
(窓前後2か所、欄間前後2か所、
ドア2か所いずれも全開)



結果は右のグラフの通りです。

一目瞭然ですね！

授業時
に実施

冷房使用時に換気をしすぎると、教室

の温度が上がり冷房の効果が低くなります。必要なところだけ換気をしましょう。

必要な
ところとは

欄間2カ所、ドア2カ所、
南窓2カ所を開放しよう



【参考】学校における窓・扉の開け方と換気の状態の例

右の図は、ある学校において、各クラスの時限毎の窓・扉の開放率（窓・扉の面積に対する開放部の面積比率）と二酸化炭素（CO₂）濃度との関係を、冷暖房使用の有無や教室の配置状況別に示したものです。

窓・扉の開放率が10%以下になると、CO₂濃度が学校環境衛生基準で規定している1500ppmを超えることが多くなっています。

（出典）学校における温熱・空気環境に関する現状の問題点と対策—子供たちが健康で快適に学習できる環境づくりのために—
（日本建築学会、2015年3月）

